

アンケート結果から見たもの

NPO 法人文化ボランティア とびうめの会
代 表 理 事 田 中 正 治

平成24年7月に行なった「文化ボランティア活動に関するアンケート調査」からボランティア関係者が“今、悩んでいる問題・課題”として浮かび上がった事項は、次のとおりです。なおアンケート調査の詳細は、別添の概要のとおりです。

- ◆世代交代（高齢化）の問題がある。
 - 団体に新たな人が入ってこない、会員が固定化している。
 - ボランティア団体を引っ張るリーダー格となる人財の育成が難しい。
- ◆活動資金の調達にどの団体も苦勞している。
 - 行政や主催者側からの補助・助成金を当てにしているところが、1／3に及ぶ。
 - 会員からの年会費も主要な財源である。
 - ボランティア活動（有償ボランティアを含めて）から資金を調達している現状が、余り見えない。
 - 寄付制度に願望はあるものの、未だ実態が見えない。
- ◆ボランティア活動を活性化させたい。
 - ボランティアの「モチベーション」が問われている。
ボランティア側に、自主的・意欲的に資質や技術を高めようとする姿勢が余り見られない。
 - 行政等による広域のボランティア育成研修が必要である。
個々の団体で独自の研修は、取り組み難い。
 - ネットワークの必要性がある。
同じような活動をしている他団体の活動を参考にしたいが、交流の機会や情報がない。
- ◆その他
 - ボランティアの組織化を望む施設（主催者側）が多い。
 - たまり場が、ボランティア同士・主催者側とのコミュニケーションに有効である。
 - 文化ボランティアの PR 不足がある。
自分たちの活動内容について、地域住民への PR 不足を感じる。